

京都府知事に要望 産業振興と港湾振興

西脇隆俊京都府知事と府内8商工会議所会頭の懇談会が11月21日、京都市内のホテルで開催され、舞鶴商工会議所から小西剛会頭が出席しました。

この懇談会は、京都府商工会議所連合会が主催し、各地の課題や要望を知事へ直接伝える大変重要な機会です。小西会頭は、次の取り組みに関する支援を京都府知事に要望しました。



地域の声を京都府知事に届ける(11月21日:京都市)

1. 新たな海洋産業と次世代エネルギー 産業都市形成に向けた支援を

- ・自衛隊艦艇や海上保安庁の巡視船の保守・修繕に関する取り組み
- ・洋上風力発電など造船技術を活かした新分野への取り組み
- ・次世代エネルギーの拠点化の取り組み

2. 京都舞鶴港を活かした人流・ 物流拡大への支援を

- ・クルーズ旅客の回復及び増大に向けた取り組み
- ・対岸諸国と京阪神を結ぶ物流センター機能の整備に向けた取り組み
- ・中国航路の復活に向けた取り組み

3. (仮称)舞鶴市産業振興センター 計画への支援を

- ・地域産業支援プラットフォームへの参画
- ・「京都産業21」による人的支援等の検討

「金融・経営一体型 支援体制強化事業」

～特別経営指導員が 経営改善に向け支援します～

新型コロナの影響が長期化し、経営改善に取り組む事業所に対し、府内の商工会議所や金融機関、行政等が地域ごとにネットワークを構築し、事業所の資金繰りや新事業展開等を支援する“金融・経営一体型支援体制強化事業”に取り組んでいます。

このネットワークでは、主に金融機関や専門家と連携し、個々の事業所の課題解決に向け伴走支援を行う“特別経

営指導員”をエリアごとに配置しており、舞鶴・綾部地域においても、今年8月から金融機関出身の相根一郎氏が特別経営指導員として、その役割を担っています。

相根指導員は、舞鶴・綾部の金融機関と情報共有を行いながら、コロナ禍で課題を抱えた事業所を訪問し、経営課題の解決に向けてヒアリングを行い、設備投資や業務効率化に活用できる補助金、資金繰り改善のための融資制度をはじめとする施策の情報提供等を行っています。

これまで、両市内の約100社余りを訪問しており、その中で、事業所の経営課題は様々であり、課題解決に向けてのきめ細やかな伴走支援の必要性をあらためて実感しています。今後は金融機関に加え、専門家と

の連携をより密にし、事業所の課題に応じて、より踏み込んだ支援を行うとともに、商工会議所の経営支援員のスキルアップを図ることを通じて、事業所支援に役立てていくことにも注力していきます。



金融機関と打ち合わせを行う相根指導員(左)



経営支援員のスキルアップに